

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年7月27日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【プロセス主建屋および雑固体廃棄物減容処理建屋付近のサブドレン水位の監視不能について】 サブドレン水位の監視計器の異常により、水位監視不能。 実施計画に定める運転上の制限の「各建屋の滞留水水位が近傍のサブドレン水の水位を超えないこと」を満足できないと判断。 監視計器の電源を操作し、監視機能復旧。 原因調査中。	G I
2	【6号機 滞留水貯留設備(D)タンクの水位計の不具合について】 滞留水貯留設備(D)タンクの水位計の点検時、計器精度の管理基準値からの逸脱を確認。 計器調整を実施。 なお、当該計器は滞留水貯留監視機能検査の対象機器であることから、計器についての健全性評価および検査への影響評価を実施。	G III